

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	16	事業名	商工会情報発信促進事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	創生プラン推進課	担当課長名	加藤慎也	施策コード	8	施策名	情報発信強化戦略の策定・実施		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景												
商工会活動を内外に発信していくことは、事業者のみならず行政や関係団体、一般住民に対して商工会の存在意義を高めることとなり、結果として会員のメリットにつながる重要な取組であることから、これまで以上に商工会の情報発信を強化していく。												
2. 事業のねらい												
商工会から収集した情報を県連合会からマスコミに対し定期的に発信することで、商工会情報の幅広い周知を行うとともに、ICTを有効活用した情報発信に向け、県連合会WEBサイトにSNS(Facebook, Twitter等)のリンクを作成し、県連合会、商工会、会員からの情報発信を強化する。												
3. これまでの評価結果												
						過年度	H29	B	H30	B	R1	R2
県連合会で収集した商工会情報については、レスポンス良く効果的に発信できている。その一方で、広報担当職員(商工会)の情報発信力は意識レベルで差があるため、情報管理・発信に関して常に県連合会を軸に共有できるような仕組みが必要となる。												
4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応												
「情報発信コンテスト」の次年度開催に向け、「広報担当職員研修会」及び「情報発信スキル向上研修会」を実施する。												

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
34	商工会における情報収集・発信機能の強化	広報担当職員の知識・スキル向上を図る事前研修を全2回で実施。メール配信による情報提供を毎月実施。	a	a	a	A
35	商工会情報の発信	県庁記者クラブへのプレスリリース発信回数は21回。掲載件数は17件。(内訳:新聞17件)	a	b	a	B

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)																	
取組コード	35					取組コード	35					取組コード					
指標名	商工会情報の発信(発信回数)					指標名	商工会情報の発信(掲載件数)					指標名					
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	12回	18回	24回	24回	24回	目標	6件	10件	17件	20件	20件	目標					
実績	20回	19回	21回			実績	16件	23件	17件			実績					
達成率	167%	106%	88%			達成率	267%	230%	100%			達成率					
達成度	a	a	b			達成度	a	a	a			達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価												
【必要性の観点】現状の課題に照らした妥当性						【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)						a
〈評価の理由〉												
広報担当職員を対象とした研修やメール配信による情報提供を行うとともに、プレスリリースする商工会情報の中でも特に重要度の高い情報に関しては、好事例として情報共有を行うなど情報発信能力向上を効果的に行うことができた。												
【有効性の観点】事業目標の達成状況						【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)						b
〈事業の目標は達成されているかどうか〉												
情報発信は件数を下回ったが、新聞掲載は目標を達成することができた。												
【効率性の観点】コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況						【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合)						a
〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉												
広報担当職員に対しメール配信を行ったことにより集合型研修(対面)を2回に抑えることができたとともに、マスコミへの発信を県連合会で一括して行うことにより時間的コストの削減が図られた。												
2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B												
広報担当職員の情報リテラシー向上と、情報相互共有の仕組みを形成し、県連合会と商工会との連携を強化できた。												
3. 課題												
県連合会側と商工会側の広報担当者の情報取り扱い能力を、さらに向上させる必要がある。												
4. 今後の対応方針(改善点)												
・「情報発信コンテスト」に向けた広報担当職員研修会を実施し、継続的なレベルアップにつなげていく必要がある。 ・21商工会に対し、メール配信等の活用によりプレスリリースの重要性を訴え、県連合会がコントロールタワーとして商工会情報を収集・発信する。												